

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成31年 1月 25日

公表:平成 31年 3月 20 日

事業所名 児童デイサービスみどり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		利用者様の安全確保	ブレイルームの安全で効率的な活用
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		適切に配置	今後も安定したスタッフの確保
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		室内バリアフリー	バリアフリーを生かした設備の活用
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		日々の振り返り	日々の振り返りから、常に改善を目指す
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者向け評価票の活用	保護者の評価から、常に改善を目指す
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		会報、ホームページでの公開	会報、ホームページ等で公開、さらなる改善を目指す
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	第三者評価は行えず	法人内面接から、各部門の客観的な評価を得る
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		年2回の研修参加、地元での研修への参加	研修内容を社内に還元できるようにする	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		面談調査の実施	アセスメントシートを用い、評価を行っている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		独自の標準化したアセスメント票の活用	アセスメントシートの再評価をしていく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		各プログラムの立案は担当スタッフによる	活動プログラムの立案に多くのスタッフを参画させる
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		固定化しないよう気を付けている	多くの意見を取り入れるよう、気を付ける
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		日々の課題を設定し、評価している	課題設定をさらにきめ細やかにする
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		支援の個別化を図る	個別の特性に合わせ、柔軟な支援体制を作る
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		確認、打ち合わせの実施	毎日の打ち合わせを欠かさず行う
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		振り返りの実施	毎日の打ち合わせを欠かさず行う
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		日々の記録	日々の記録は欠かさずとっていく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		定期的なモニタリング	定期的なモニタリングを行う
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>		組み合わせた支援の実施	ガイドラインに沿って、サービスの向上を目指す

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		サービス担当者会議への参加	サービス担当者会議開催の提案もしていく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		学校との情報共有	学校とはメール受信のほか、年1回の送迎打ち合わせなどが行われる
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>		医療ケア時の受け入れはしていない	看護師等の配置がないため、医療ケア児については受け入れしていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>		就学前施設との連携が取れていない	就学時にスムーズに利用できるよう、改善する
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<input type="radio"/>		進路となる障がい福祉サービス事業所への情報提供	卒業後、スムーズに進路に移行できるよう、情報提供等を行っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		専門機関からの助言を受けている	児童発達支援センター等が近隣にないが、専門家からの助言をうけ、参考にしていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>		現在、行えておりません	障害のない子どもたちとの交流は、今後の課題としていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>		代表者が参加している	協議会において、積極的に意見交換していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		連絡帳、送迎時の連絡	日頃から共通理解が持てるよう、保護者様との関係づくりに尽力する
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>		ペアレント・トレーニング	ペアレント・トレーニング等を行っていないが、保護者様とともに学ぶ機会を持ってきている
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		書面にて丁寧に説明を行う	ご利用者様からの疑問の声は少ないようです
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		保護者様のお悩みに対しては、随時面談に応じる	必要な助言と支援に関して、さらなる研鑽を行う
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>		保護者会の支援を行う	保護者会の支援に注力する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		苦情に対しては迅速、適切に対応する	法人格部署、外部とも連携し、苦情の対応に当たる
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		会報の発行で発信	会報、ホームページ等で発信する
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>		個人情報の取扱いに配慮する	特に肖像権に関し、同意書を交わす
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		意思の疎通に関して、まだ十分ではない	意思疎通に関し、障がい特性に合わせて情報伝達のための配慮をする
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>		福祉健康まつりに参加している	地域交流行事に参加し、啓発運動を行っている

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>	マニュアル作成はしているが十分に周知されていない	マニュアルの徹底周知に努力する
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	定期的な訓練	定期的な訓練を行う
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>	虐待防止研修への参加	虐待防止研修の参加と、スタッフへの還元を行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>	身体拘束の有無	やむを得ず身体拘束を行う事象が、経験がなく、今後検討していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>	医師からの指示書	医師からの指示書をとるよう進めていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>	日々のヒヤリハット記録	日々のヒヤリハット報告書をスタッフで共有していく